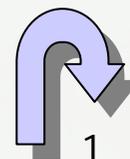


スペイン近世・近現代史——人物研究を軸にして

16世紀以後のスペインの歴史過程(近世～現代)において、それぞれの時代に生きた人物像に焦点をあてて、時代的制約のなかで課された「社会的役割」を当該人物がどのように主体的に受け止めて、時代を切り開こうとしたか(あるいは押し止めようとしたか)を、人物研究として考察する。

【配布プリント】

- スペイン地図
- スペイン略年表
- 中世史基本文献リスト
- 「スペイン近現代史研究の諸問題」(近現代史基本文献リスト)
- 各人物像に関する史料



【スケジュール】

(前提) 歴史学と人物研究——方法論的意味

(前提) 近現代スペインの歴史過程

- (1) 大航海時代の到来——クリストバル・コロン(1451-1506)
- (2) スペイン帝国を批判した女性——ルクレシア・デ・レオン(1568-?)
- (3) 帝国宮廷を装飾した画家——ディエゴ・ベラスケス(1599-1660)
- (4) 啓蒙改革の立役者——パブロ・デ・オラビーデ(1725-1803)
- (5) 時代の黄昏と夜明けに生きた画家——フランシスコ・デ・ゴヤ(1746-1828)
- (6) 立憲王政樹立をめざした進歩派軍人——ジュアン・プリム・イ・プラッツ(1814-1870)
- (7) 下からの主権論と連邦共和主義——フランセスク・ピ・イ・マルガイ(1824-1901)
- (8) カタルーニャ・ナショナリズムの父——アンリック・プラット・ダ・ラ・リバ(1870-1917)
- (9) ナショナルカトリシズムの独裁者——フランシスコ・フランコ(1892-1975)
- (10) カタルーニャの言語＝文化同一論——ジョルディ・プジョル(1930-)